

株式会社 **ケイ**

(東証1部:6850)

CEIINO

2021年3月期 決算説明会資料



目次

➤ 1. チノーグループの概要	P 2
➤ 2. 事業の概要	P 8
➤ 3. チノーの強み	P 12
➤ 4. 決算概要	P 20
➤ 5. 中期経営計画2026	P 38
➤ <i>Appendix</i>	P 52

➤ 1. チノーグループの概要

CHINO



会社概要

会 社 名	株式会社チノー CHINO CORPORATION
本 社	東京都板橋区熊野町32-8
代 表 者	代表取締役 社長執行役員 豊田三喜男
事 業 内 容	計測制御機器の製造・販売、計装工事
会 社 設 立	1936年8月1日
株 式	東京証券取引所第1部上場
従 業 員 数	連結：1,110名 単体：689名 (2021年3月末現在)
子 会 社	12社 (国内 6社、海外 6社)

当社の生産拠点・販売拠点・国内外子会社

生産拠点（3拠点）

藤岡事業所 久喜事業所 山形事業所

販売拠点 （3支店<18営業所>）

東日本支店 （9営業所・2出張所）
大阪支店 （6営業所・1出張所）
名古屋支店 （3営業所）

国内子会社（6社）

- ・株式会社チノーソフテックス
- ・三基計装株式会社
- ・株式会社浅川レンズ製作所
- ・アース株式会社
- ・アドバンス理工株式会社
- ・明陽電機株式会社

海外子会社（6社）

- ・ CHINO Works America Inc.
- ・ 韓国チノー株式会社
- ・ 上海大華－千野儀表有限公司
- ・ 千野測控設備（昆山）有限公司
- ・ CHINO Corporation India Private Limited
- ・ CHINO Corporation (Thailand) Limited

沿革

1913

創業

(株)千野製作所
設立

1936

東京証券取引所
市場第2部上場

1962

藤岡事業所
竣工

1963

久喜事業所
竣工

1978

東京証券取引所
市場第1部へ
指定替え

1979

創立50周年を機
に(株)チノーに
社名変更

1986

本社・研究所
新社屋竣工、移転

1990

(株)山形チノー
(現 山形事業所)
設立

1992

藤岡事業所に生物
多様性保全をめざし
ビオトープ造成

2010

藤岡事業所に
機器開発センター
竣工

2014

創立80周年

2016

明陽電機の子会社化

2020



千野製作所



機器開発センター

企業理念

計測・制御・監視技術の限界に挑戦し、
産業の発展とより良い明日の社会の実現に貢献する

創立90周年(2026年)に向けた経営ビジョン



共創

環境の変化を捉えながらステークホルダーと共に新しい価値を創造します

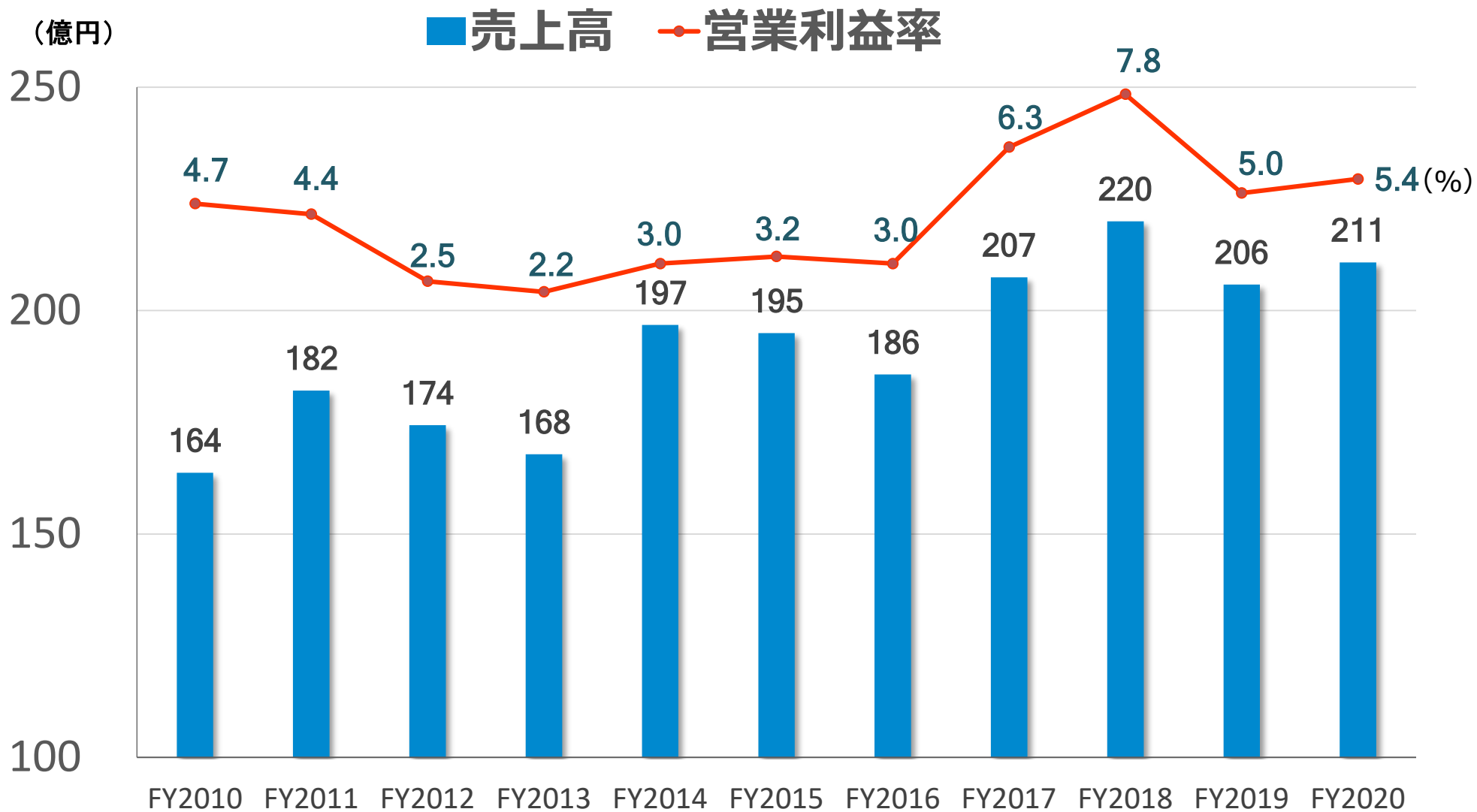
特長

卓越した技術によるループソリューションでお客様に感動をお届けします

信頼

信頼の“絆”を強め 情熱とチームワークで未来に向かって成長し続けます

連結業績推移



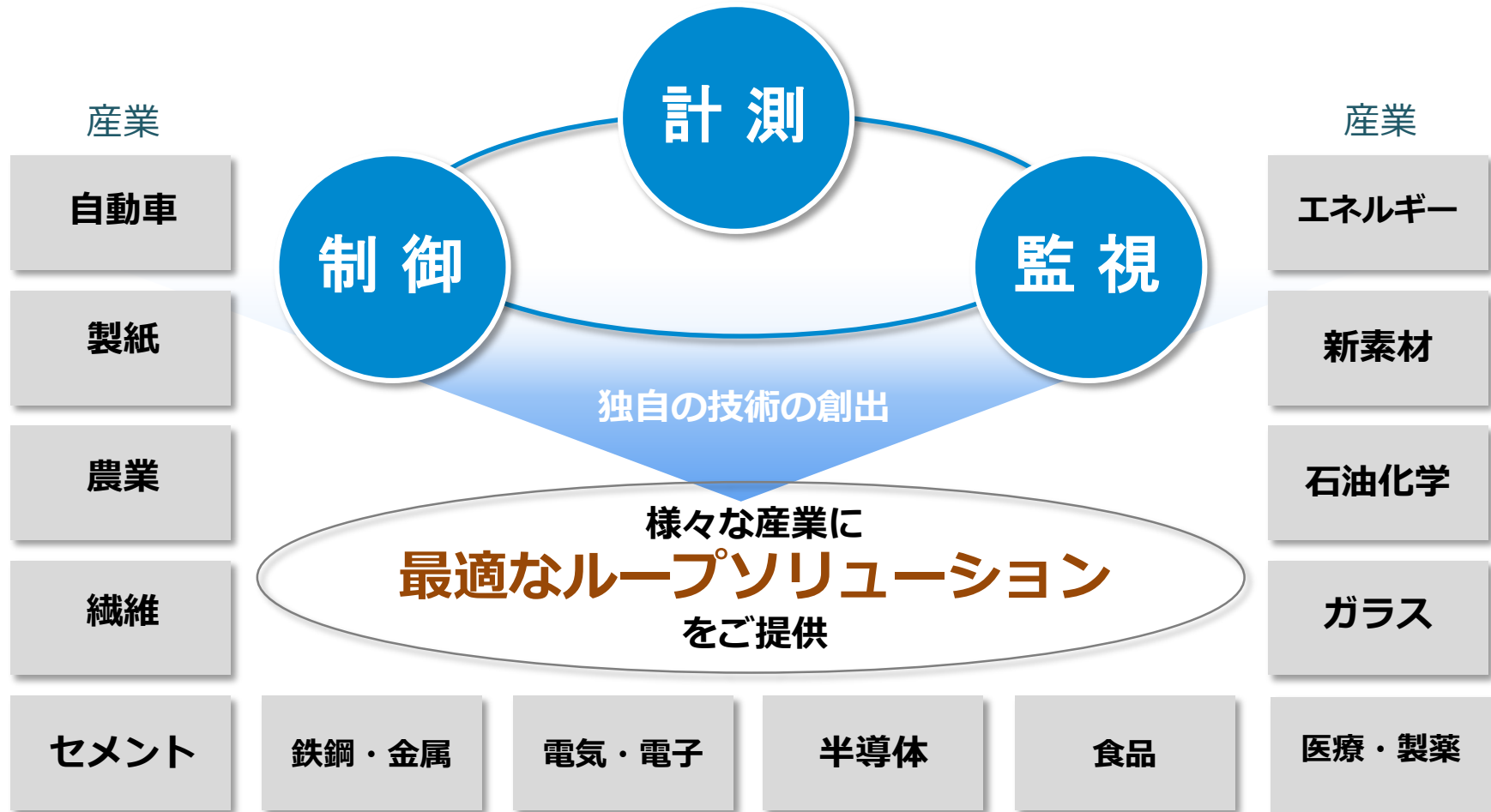
》 2. 事業の概要

CHINO



ループソリューションで顧客価値創造

「温度のチノー」として、温度を軸として長年培ってきた
①計測の技術 ②制御の技術 ③監視の技術



産業別ソリューション

自動車 航空機

- ・ 熱間プレス of 温度制御、監視
- ・ エンジンルーム of データ収集
- ・ 新素材/部品/部材 of 熱処理
- ・ AMS(熱処理管理規格)支援

エネル ギー

- ・ 燃料電池評価試験装置
- ・ 水電解装置
- ・ 太陽光発電モニタリングシステム
- ・ リチウムイオン電池セパレータ
フィルム厚み計測

半導体 電子部品

- ・ クリーンルーム of 温度、湿度、
酸素監視
- ・ シリコン単結晶温度制御
- ・ MLCC焼成

医療 医薬

- ・ 再生医療 試料保管庫 of 温度管理
- ・ 医薬品倉庫温度マッピング
- ・ 血液保管庫 of 温度監視

鉄鋼 金属

- ・ 鋳造ライン of 温度計測
- ・ 取鍋鉄皮 of 温度計測
- ・ 石炭サイロ of 温度計測

製紙

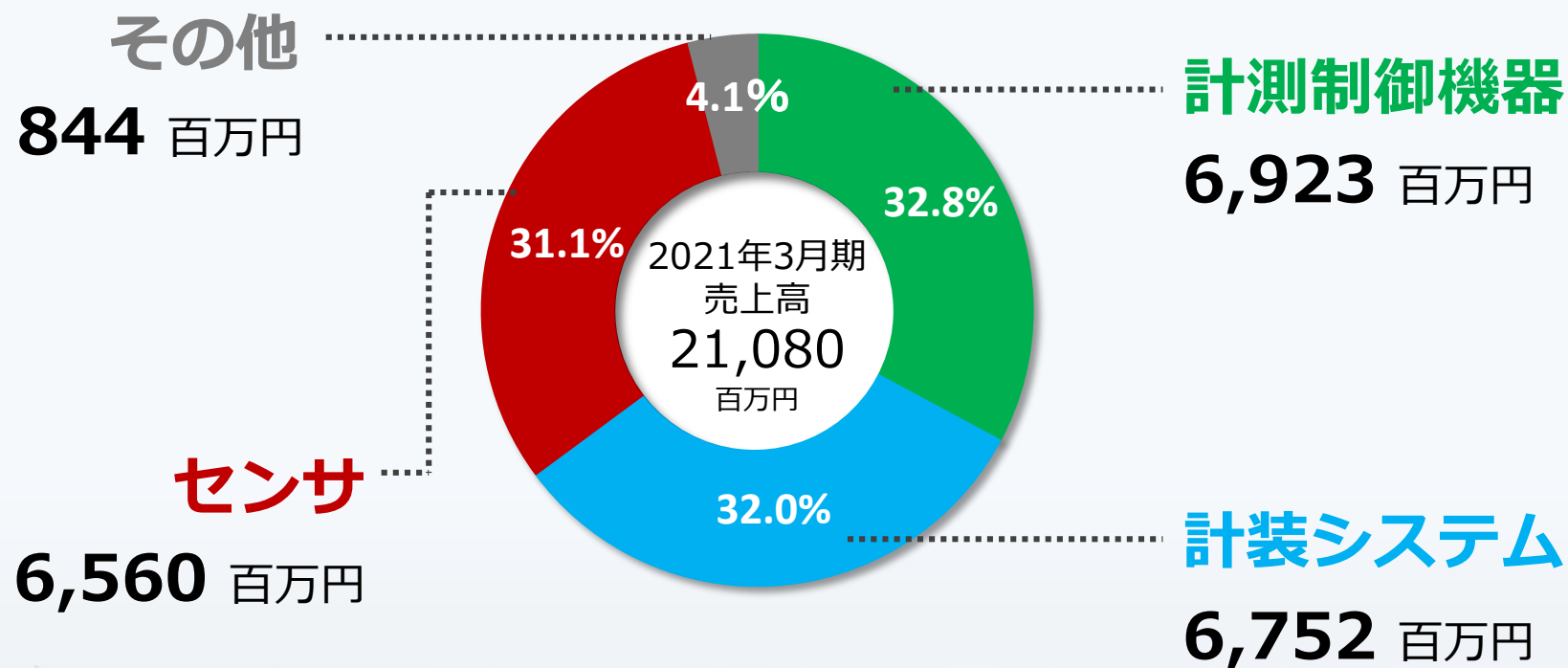
- ・ 情報紙塗工量測定
- ・ 製紙水分プロファイル制御
- ・ ドライヤー制御

食品

- ・ ポテトチップスの水分、油分測定
- ・ 日本酒醸造工程 of 温度管理
- ・ 小麦粉 of 水分測定、水分制御
- ・ 冷蔵冷凍庫内 of 温度監視

農業

- ・ 穀物サイロ of 温度管理
- ・ 栽培ハウスの温湿度管理/CO₂制御
- ・ 農業IoT化用センサシステム



温度を中心とした計測・制御・監視を通して、
社会の発展に貢献しています

》3. チノーの強み

CHINO



チノーの強み（放射温度計の国内トップメーカー）

1 >>

放射温度計の 国内トップメーカー

物体の赤外線のエネルギー量を
を検知することで温度を計測

2 >>

極低温から超高温 までの温度測定

-270℃から3,500℃
までの温度を計測

チノーの強み（世界22か国の標準温度センサ）

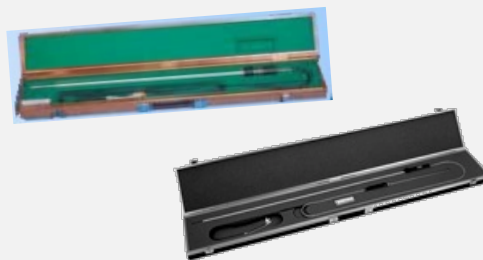
お客様のセンサや自社生産したセンサの温度のズレや間違いを「**校正**」する事業を行っています。また、当社は国に認められた計量法事業者登録制度（JCSS）の登録事業者として、**国が発行する証明書と同等**の効力を持った証明書を発行することができます。



株式会社チノー標準技術部は、認定基準として ISO/IEC17025 を用い、認定スキームを ISO/IEC17011 に従って運営されている JCSS（計量法校正事業者登録制度）の下で認定されています。JCSS の認定機関である IA Japan は、アジア太平洋認定協力機構（APAC）及び国際試験所認定協力機構（ILAC）の相互承認に署名しています。0024 は当社標準技術部の登録番号です。

標準温度センサ

世界**22**か国の国家標準機関において使用！



標準白金測温抵抗体／熱電対
R800／C800シリーズ



標準用放射温度計
IR-RSTシリーズ

ソリューション事例1

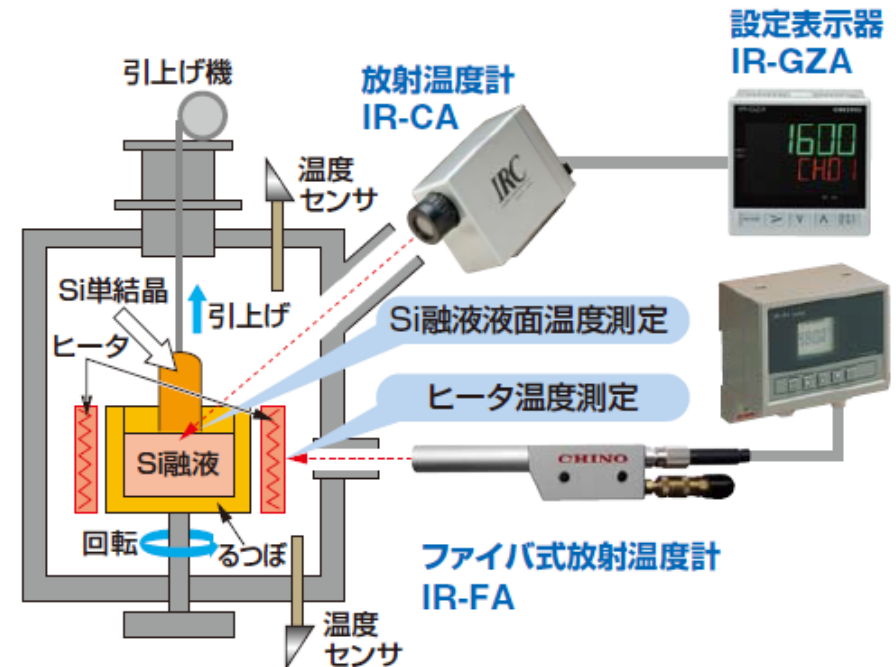
温度計測、放射温度計

Solution

半導体製造プロセス

- シリコン液面温度を2素子波長にて高精度測定
- ヒータ温度を、光ファイバを使用して小径で省スペース測定が可能
- お客様のご要望に合わせた、計測方法をご提案

◆システム構成例 シリコン単結晶引き上げ装置



ソリューション事例2

温度計測、温度制御、温度分布

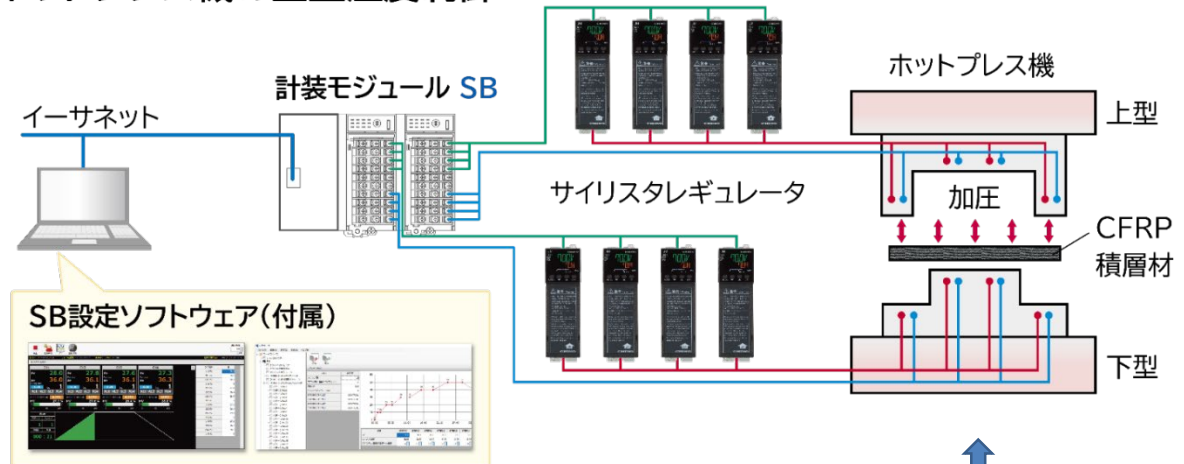
Solution

CFRPホットプレス機ソリューション

- CFRP(炭素繊維強化プラスチック)は、炭素繊維を樹脂で固めた複合材料で、軽量・高強度であることから、航空機や自動車での今後の燃費規制への有効な対策として期待されている素材
- ホットプレス機で加圧しながら加熱しCFRPを成形。この際、金型温度分布の制御と管理が重要
- CFRP金型に即した温度センサをお客様のご要望に合わせて提案・製造
- 多点温度制御には4チャンネルが一体となったモジュール形調節計SBが有効

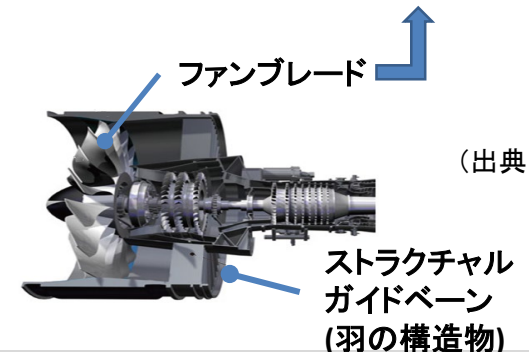
◆システム構成例

ホットプレス機の金型温度制御



(出典: ANA)

断面図



(出典: IADF)

ソリューション事例3

温度計測、湿度計測、IoT

工場集中管理システム

Solution

- 工場設備の稼働率などユーザーが必要とする情報をカスタマイズした集中監視が可能
- 2020年6月から気象庁と環境省が熱中症予防のための「熱中症警戒アラート(試行)」を発表
- WBGT(暑さ指数)算出に必要な気温と湿度を組合せて算定



監視機能付き無線ログリーダーMD8000

◆システム構成例



6-4	計装刀北	6-1	板金
温度	26.4 °C	温度	25.6 °C
湿度	51 %RH	湿度	51 %RH
WBGT	21.4 °C	WBGT	20.7 °C
6-5	計装刀南	6-3	幼工事務
温度	26.6 °C	温度	25.0 °C
湿度	55 %RH	湿度	50 %RH
WBGT	22.0 °C	WBGT	20.0 °C

WBGT警戒レベル識別

危険	WBGT指数: 31.0℃以上
嚴重警戒	WBGT指数: 28.0~30.9℃
警戒	WBGT指数: 25.0~27.9℃
注意	WBGT指数: 21.0~24.9℃
ほぼ安全	WBGT指数: 21.0℃未満

ソリューション事例4

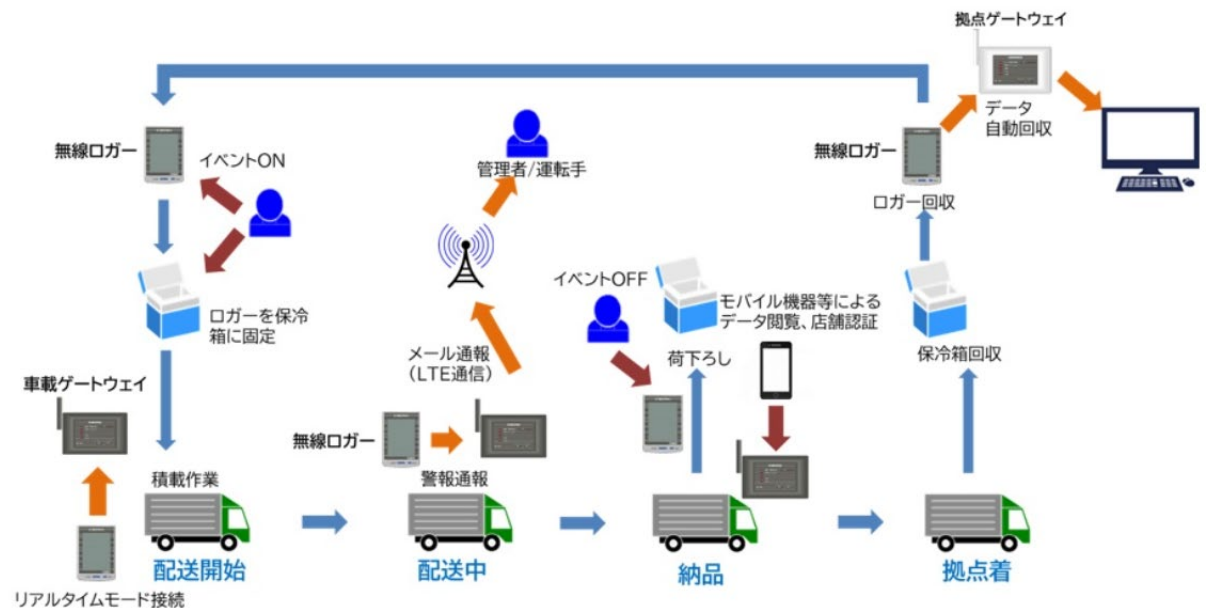
温度計測、IoT、温度マッピング

Solution

輸送・配送の温度管理システム

- 医薬品の適正流通（GDP）ガイドラインでは、温度制御付き車両は輸送中の温度モニタリングが要件
- 温度制御付き車両以外にも高まる温度管理への要求
- 右の図は、保冷箱ごとにリアルタイム無線ロガーで、配送中の温度記録・監視するシステム
- 薬品倉庫の温度マッピングは定期的な点検・サービスを必要とし、当社の新しいビジネスの柱に成長

◆システム構成例



ソリューション事例5

温度計測・制御・監視、F値管理、食品

Solution

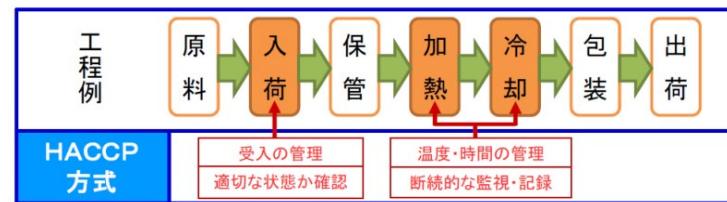
食の安全 HACCP/FSSC22000支援ソリューション

- HACCP(ハサップ)とは、食品の原材料から最終製品までの各工程ごとに監視・記録する工程管理・衛生管理の手法
〔 2020年6月：HACCP施行
2021年6月：HACCP完全施行 〕

- 各国の安全基準に左右されない国際規格FSSC22000は、2019年Ver.5がリリース。「サービス提供者の評価・管理」が求められ、当社の温度校正サービスが活躍

- 食品向けの多彩なセンサ、加熱殺菌効果を示すF値計測記録計など、充実した製品群でトータルソリューションを提供

◆システム構成例



入荷時

早く冷蔵庫に入れて!



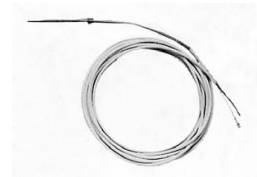
Bluetooth搭載モデル発売開始

加熱時

素早く温度を測定したい!



F値計測記録計
KR2S



レトルト用
温度センサ



フィールド点検
現地校正サービス

全国に拠点あり

➤ 4. 決算概要

CHINO



決算ハイライト

2021年3月期 連結業績

受注高



20,553百万円

前年同期比 0.4%減



売上高



21,080百万円

前年同期比 2.4%増



- ・ 売上高：コロナ禍の影響により国内・海外とも厳しい状況となったが、明陽電機(株)の連結子会社化により増加
- ・ 3Q以降は一部の主要顧客において、設備投資が活発化

<利益面>

営業利益



1,136百万円

前年同期比 10.7%増



経常利益



1,283百万円

前年同期比 23.7%減



当期純利益 (親会社株主に帰属)



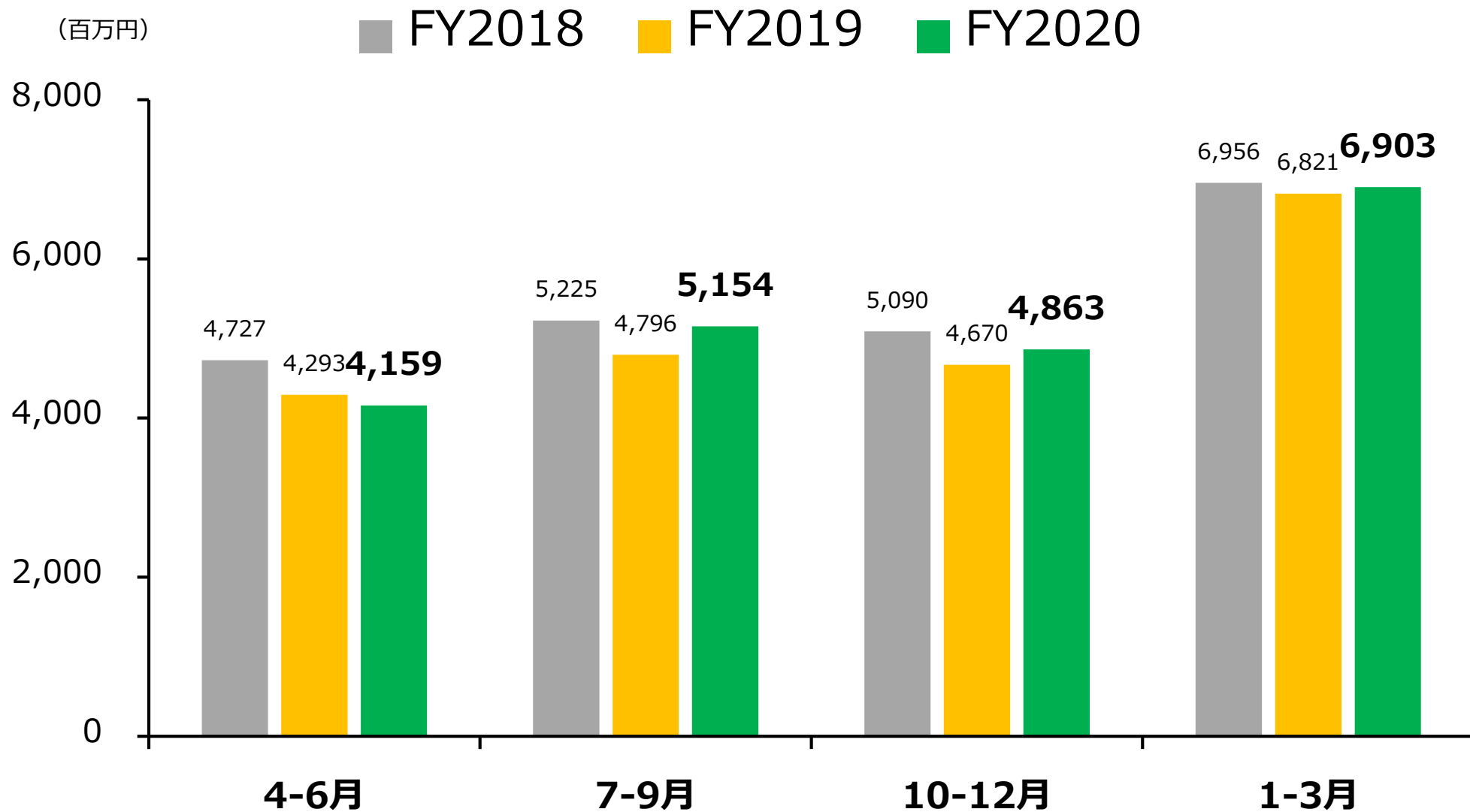
1,289百万円

前年同期比 5.9%増



- ・ 営業利益：経費の低減により営業利益率が改善し、M&A効果も相俟って2桁増加を確保
- ・ 明陽電機(株)の連結子会社化に伴い特別利益（負ののれん発生益557百万円）を計上

売上高の四半期別推移



営業利益増減分析

(百万円)

FY2019
営業利益

売上増
による
粗利益増

原価率上昇

販管費の
減少

FY2020
営業利益

+ 153

▲ 143

+ 100

不急の経費削減
による販管費の減少

1,026

1,136

セグメント別業績

(百万円)

	受注高				売上高				営業利益			
	FY2019	FY2020	前期増減	前期増減比	FY2019	FY2020	前期増減	前期増減比	FY2019	FY2020	前期増減	前期増減比
計測制御機器	7,213	6,705	▲ 508	▲7.1%	7,677	6,923	▲ 753	▲9.8%	1,153	888	▲ 265	▲23.0%
計装システム	8,225	6,662	▲ 1,563	▲19.0%	7,674	6,752	▲ 922	▲12.0%	648	592	▲ 56	▲8.7%
センサ	4,519	6,540	2,020	44.7%	4,352	6,560	2,208	50.7%	652	1,138	485	74.4%
その他	669	645	▲ 24	▲3.6%	877	844	▲ 33	▲3.8%	209	152	▲ 56	▲27.1%
全社費用									▲ 1,638	▲ 1,635	2	—
合計	20,628	20,553	▲ 75	▲0.4%	20,582	21,080	498	2.4%	1,026	1,136	109	10.7%

<計測制御機器>

計測制御機器



記録計

調節計

サイリスタレギュレータ
(電力調整器)

ロガー

プラントや工場などの様々な製造現場の基盤を支える「記録」や「制御」に必要な「記録計」や「調節計」、「サイリスタレギュレータ」を提供しています。また、温度や二酸化炭素、酸素濃度の計測と監視を一台で行うデータロガーやガスセンサ、配線不要で広域エリアの温湿度データを監視できる無線ロガー等を提供しています。

主な製品



記録計



調節計



サイリスタレギュレータ



監視機能付き無線ロガー

セグメント別の業績動向

① 計測制御機器

損益状況

売上高

6,923百万円 前年同期比 9.8%減



セグメント利益

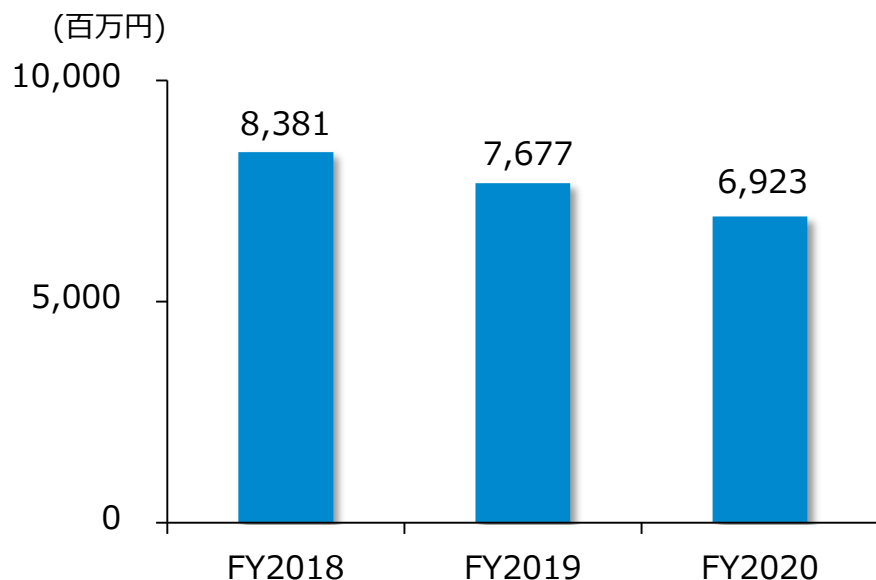
888百万円 前年同期比 23.0%減



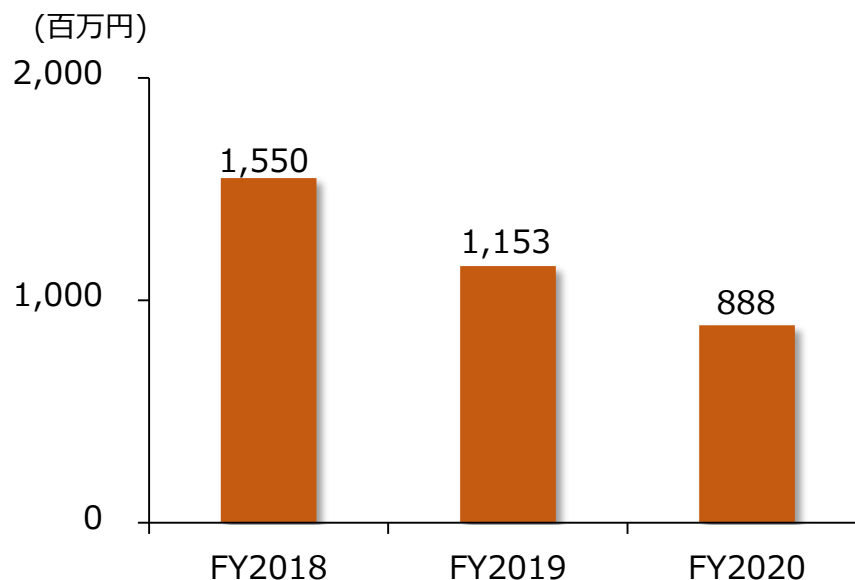
製品別状況

- 主要顧客向けの記録計・調節計・サイリスタレギュレータの売上は、設備投資抑制によりいずれも低迷
- 民生用機器は、体表面温度チェッカ等の需要増に対応し堅調

<売上高>



<セグメント利益>



<計装システム>

計装システム



評価試験

性能・耐久試験

集録・監視パッケージシステム

計測・制御・監視の技術を活かし、燃料電池評価試験装置、コンプレッサ性能試験装置、水電解装置をはじめ、お客様の目的に合わせた計測・制御・監視機器をアプリケーションソフトを含めてコーディネートする計装システムを提供しています。

主な製品



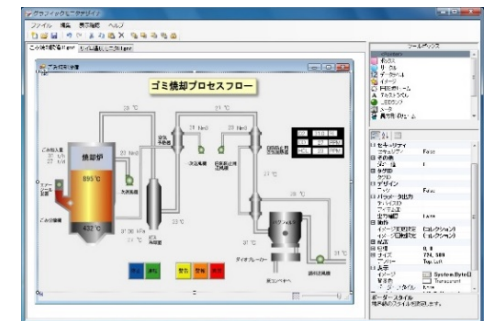
FC評価試験装置



コンプレッサ
性能試験装置



水電解試験評価装置



集録・監視システム
パッケージソフト

損益状況

売上高

6,752百万円 前年同期比 12.0%減



セグメント利益

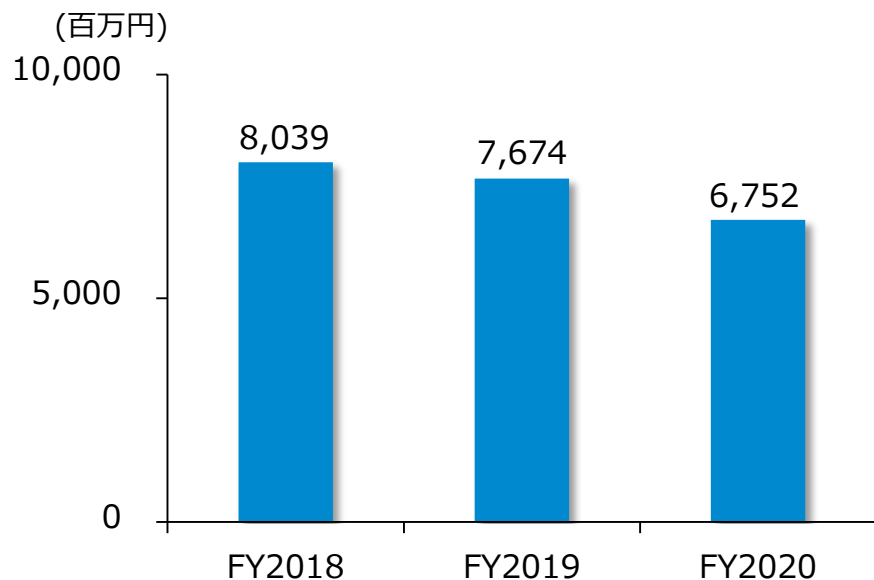
592百万円 前年同期比 8.7%減



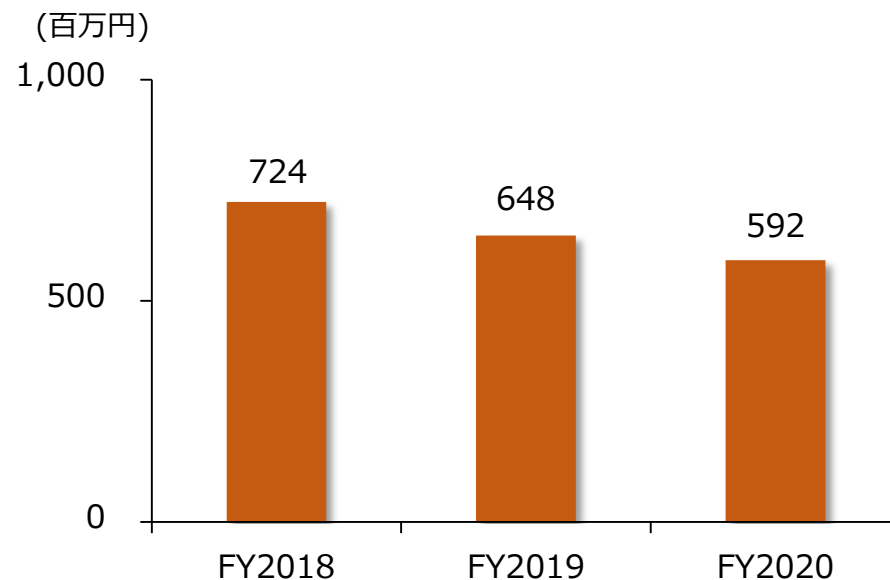
製品別状況

- 電子部品関連の製造装置向け等の売上は、3Q以降需要が回復
- 燃料電池評価試験装置・コンプレッサ評価試験装置の売上は低調
- 医薬品等の温湿度管理システムは、需要の拡大が継続し、売上は前期比で大幅に増加

<売上高>



<セグメント利益>



<センサ>

センサ



温度

湿度

成分・水分・厚さ計測

温度校正

熱電対、測温抵抗体などの接触形温度センサ、赤外線技術を応用した放射温度計、熱画像計測装置（サーモグラフィ）、および湿度センサや成分計を提供しています。また、標準技術では校正用の標準センサとして使用される標準白金測温抵抗体、標準熱電対の提供と、計量法校正事業者登録制度（JCSS）の登録業者として、温度および湿度の国家標準へのトレーサビリティ確保を支援しています。

主な製品



高温用シース熱電対



放射温度計



熱画像計測装置



赤外線多成分計
(水分・フィルム厚さ・塗工厚さ)



温度校正装置

セグメント別の業績動向

③ センサ

損益状況

売上高

6,560百万円 前年同期比 50.7%増



セグメント利益

1,138百万円 前年同期比 74.4%増

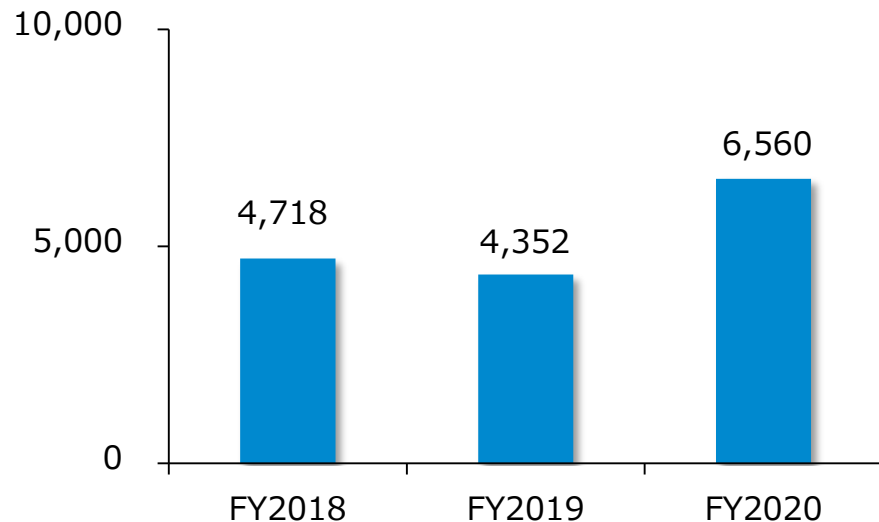


製品別状況

- 2020年4月から連結子会社化した明陽電機の業績が加わったことにより大きく進展
- 放射温度計・温度センサは回復基調にあり、主に半導体製造装置向け（海外）が好調
- 体表面温度発熱監視装置は、需要増に対応し堅調に推移

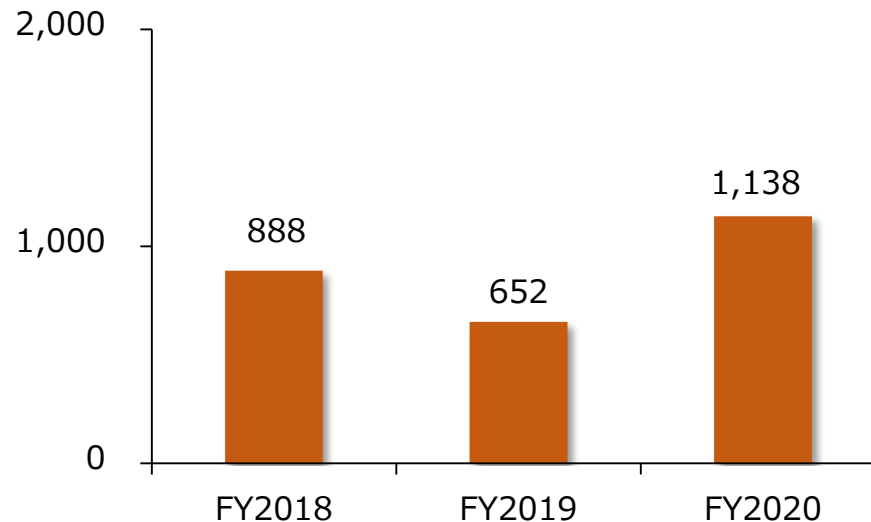
<売上高>

(百万円)



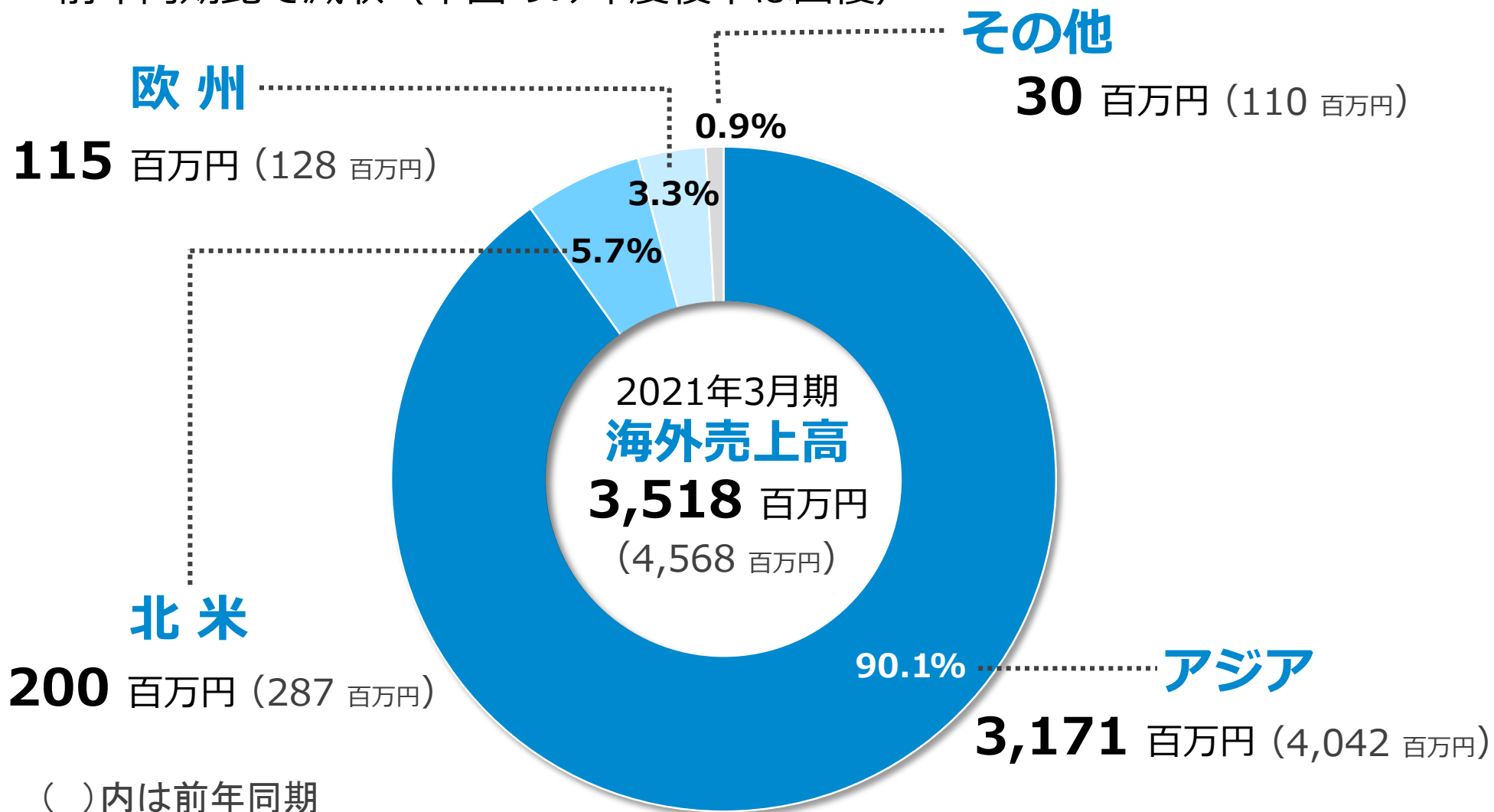
<セグメント利益>

(百万円)



海外売上高（地域別）

- 各地域ともに年度前半はコロナ影響により前年同期比で減収（中国のみ年度後半は回復）



連結貸借対照表

総資産は、明陽電機株式会社の子会社化を主な要因として増加

- 資産 現預金、売上債権及び棚卸資産の増加等により、前期末比3,690百万円の増加
- 負債 流動負債、固定負債ともに増加し、前期末比507百万円の増加
- 純資産 前期末比3,183百万円の増加

(百万円)

科目	2020年3月末	2021年3月末	増減
流動資産	17,421	20,299	2,877
現預金	4,650	6,991	2,340
売上債権	7,327	7,548	220
棚卸資産	4,992	5,526	534
その他	450	231	▲ 219
固定資産	9,286	10,099	813
有形固定資産	4,757	5,578	821
無形固定資産	327	398	70
投資その他の資産	4,200	4,122	▲ 78
資産合計	26,708	30,398	3,690

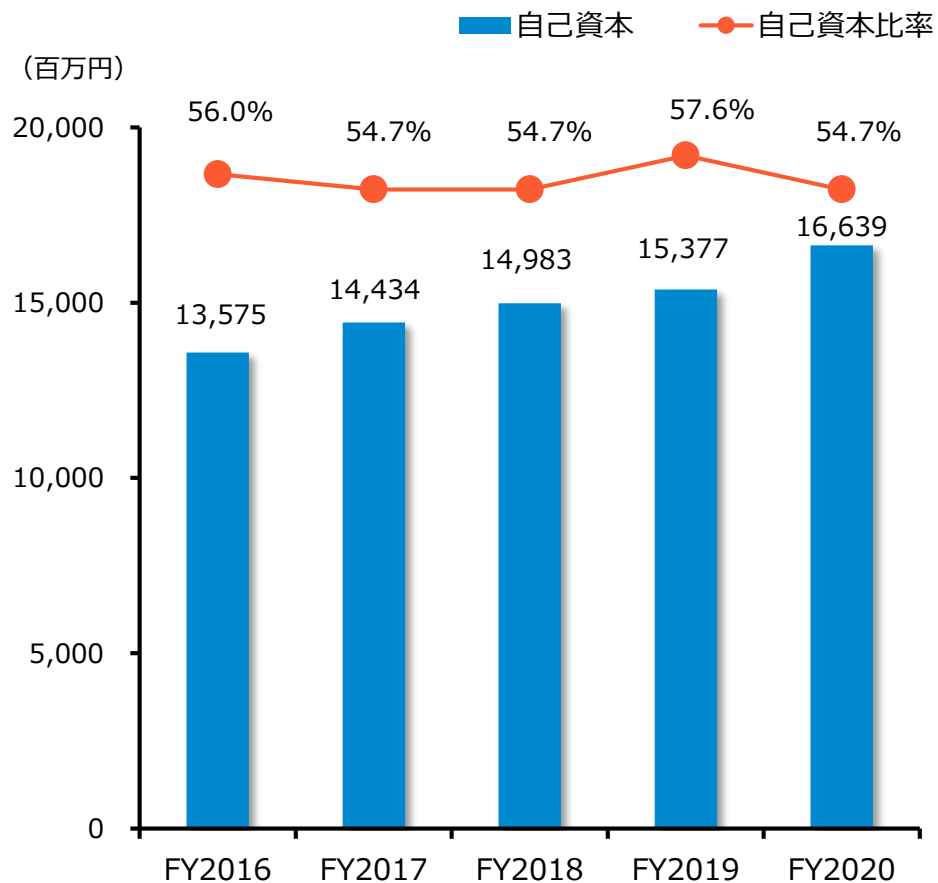
科目	2020年3月末	2021年3月末	増減
流動負債	7,063	7,274	211
仕入債務	3,850	3,611	▲ 239
短期借入金	1,574	1,594	20
その他	1,638	2,069	431
固定負債	3,326	3,621	295
長期借入金	1,260	995	▲ 264
その他	2,066	2,626	559
純資産	16,318	19,502	3,183
株主資本	15,500	16,398	897
その他の包括利益累計額	▲ 123	240	364
非支配株主持分	941	2,863	1,921
負債純資産合計	26,708	30,398	3,690

自己資本比率：2021年3月末 54.7%、2020年3月末 57.6%

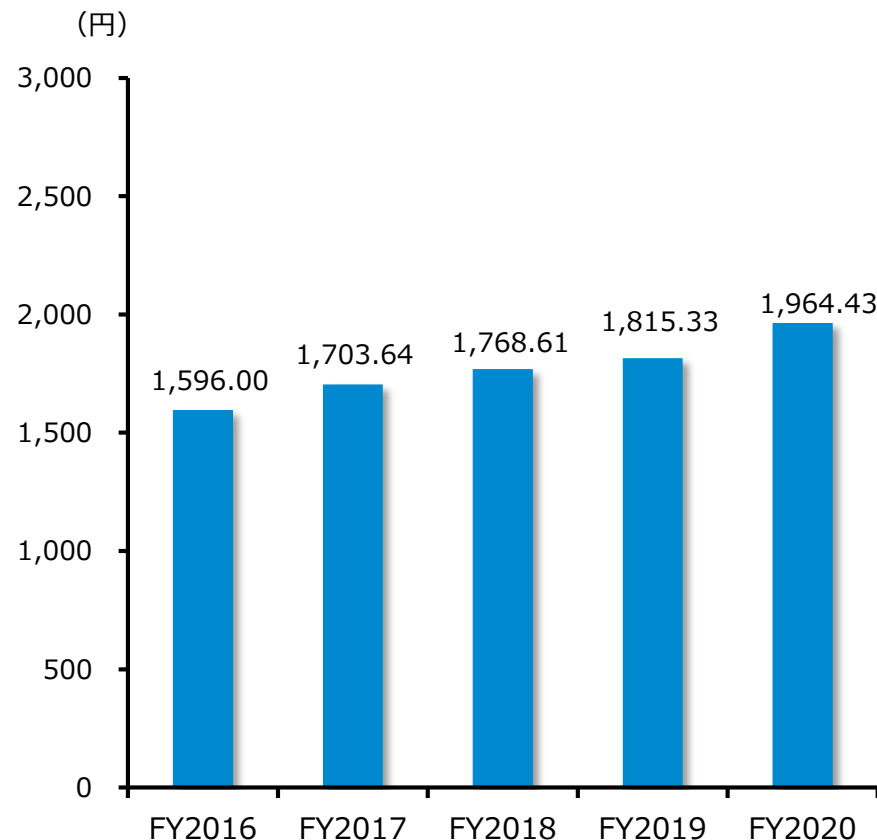
財務の状況

<自己資本/自己資本比率>

- 明陽電機の子会社化により総資産は増加、非支配株主持分も増加の為、自己資本比率低下



<1株当たり純資産>

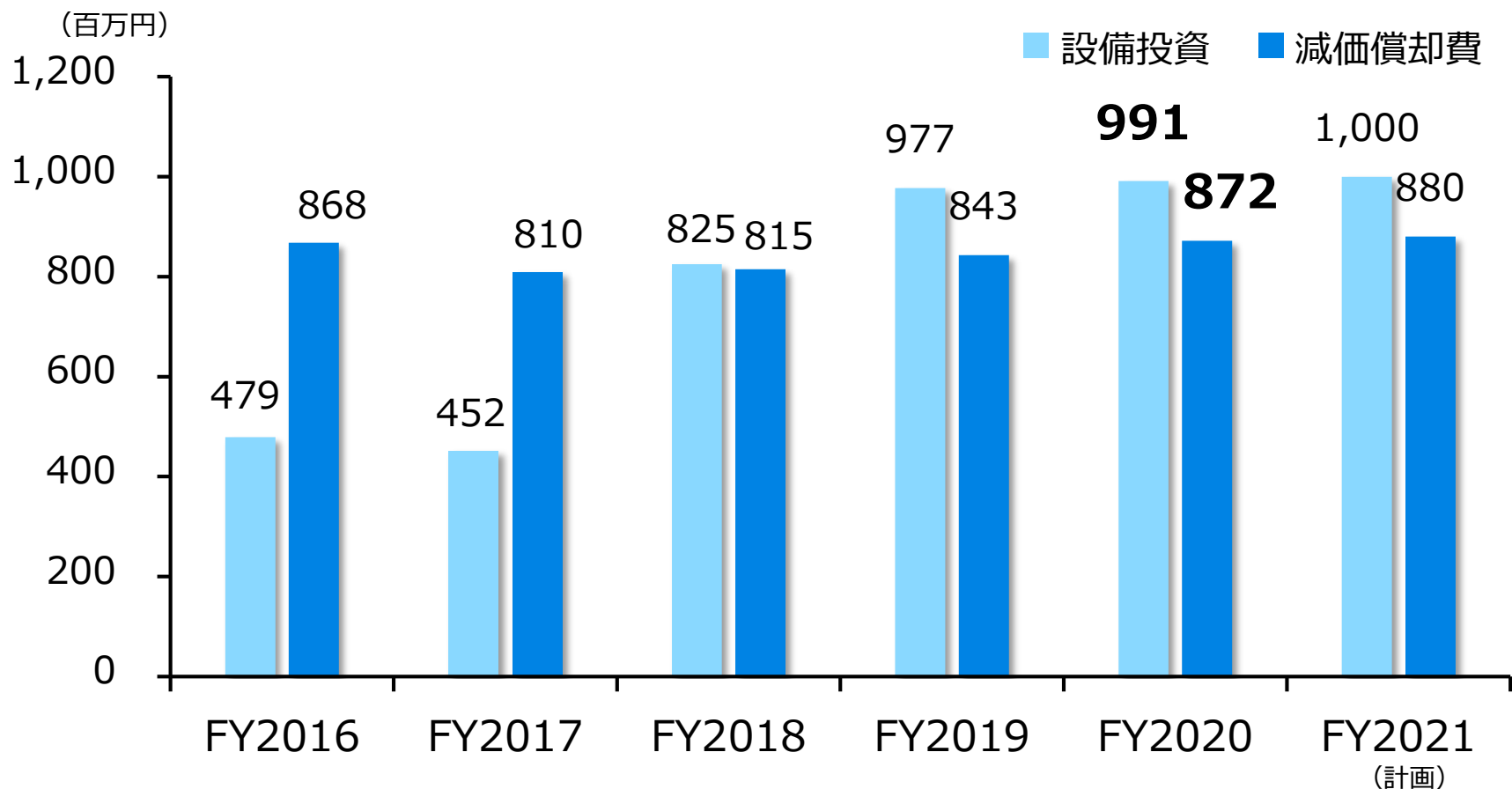


設備投資／減価償却費

● 当期の設備投資は991百万円

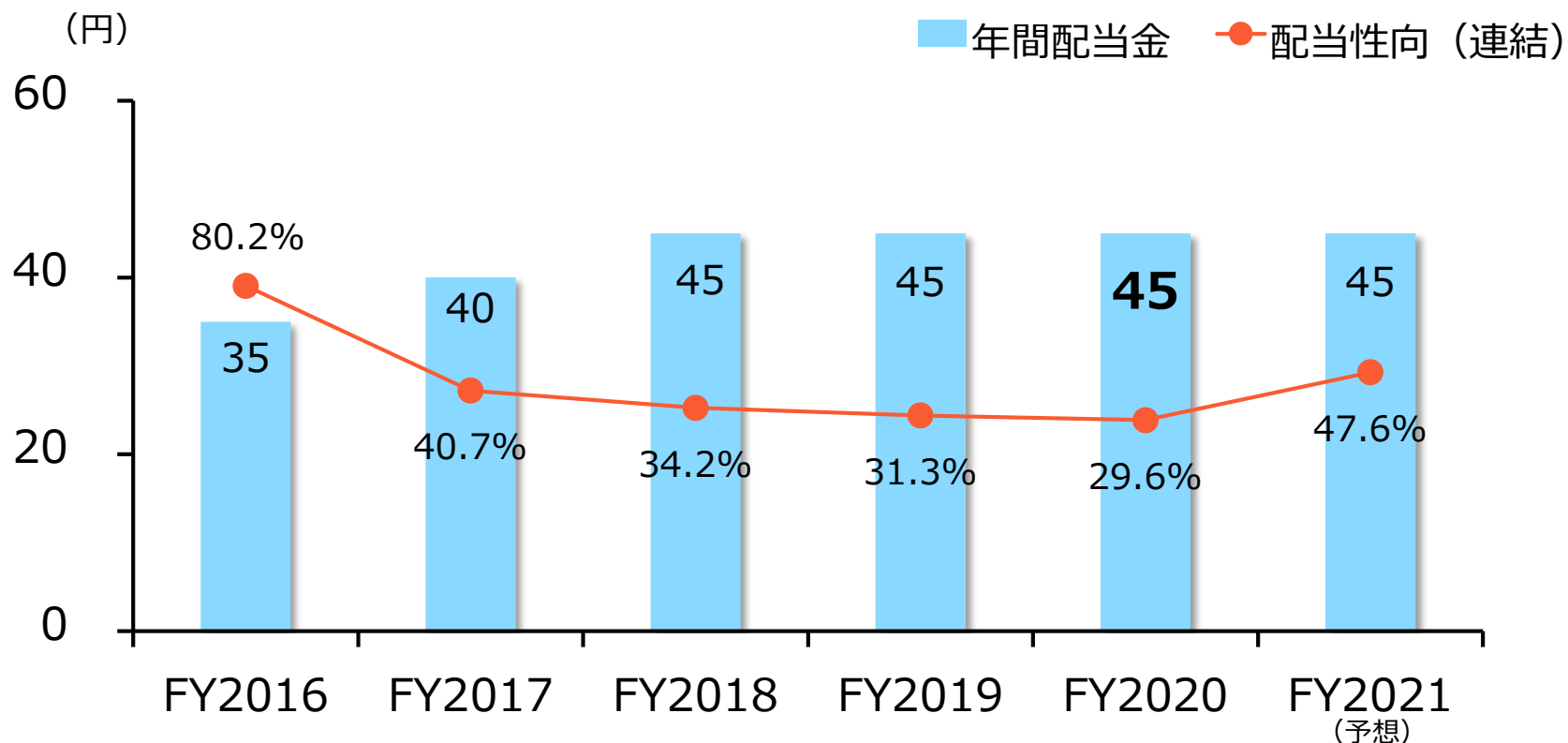
<主な設備投資>

- ・ 計装棟の新築（藤岡事業所） 305百万円
- ・ 新製品の生産設備（山形事業所） 141百万円
- ・ リニューアル工事（久喜事業所） 104百万円



株主還元

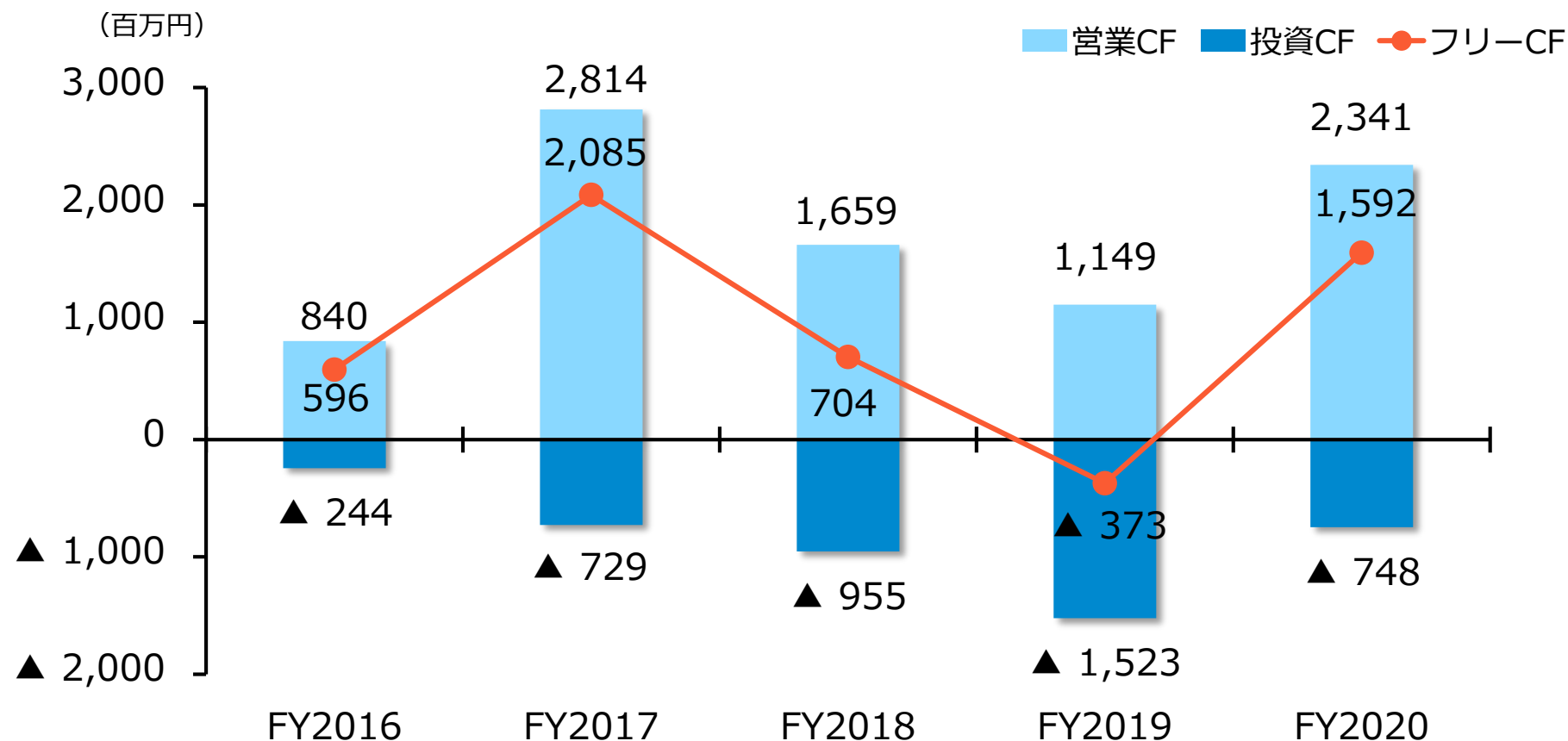
- FY2020の1株当たり年間配当金は45円（2021年6月9日取締役会で決議）。
- 2016年12月から2017年5月にかけて自社株買いを120百万円実施。
（2017年7月には、自己株式の消却を300,000株実施）
- 安定配当を継続しつつ、内部留保資金を研究開発活動や新技術・新商品開発投資及び新規事業等、将来の企業価値を高めるための投資資金として有効活用することにより、1株当たり利益とROEの向上に努めてまいります。



キャッシュ・フロー

<営業CF/投資CF/フリーCF>

- フリーCFは前期を除きプラスで推移。
- 当期の投資CFは、▲7.5億円。明陽電機の子会社化による収入10.8億円（連結時の明陽電機保有の現預金と株式追加取得額の差額）を含む。



FY2021の業績予想

- 売上高223億円（前期比5.8%）、営業利益12億円（同5.6%）の予想としております。
- 今後に向け、社会・企業のデジタルトランスフォーメーション等で成長が見込まれる半導体・電子部品関連向けや、生産の回復が期待される自動車関連部材の生産設備向け、水素関連のイノベーションへの貢献等を中心に注力してまいります。

(百万円)

	FY2021 業績予想 (2021年5月13日発表)	FY2020 実績	増減	増減比
売上高	22,300	21,080	1,219	5.8%
営業利益	1,200	1,136	63	5.6%
経常利益	1,300	1,283	16	1.2%
当期純利益 (親会社株主に帰属)	800	1,289	▲489	▲38.0%

》 5. 中期経営計画 2026

CHINO

経営スローガン

Measure with Passion
温度を極める

前中期経営計画の業績推移

		前・中期経営計画期間				2020年度 (中期計画)
		2017年度 (実績)	2018年度 (実績)	2019年度 (実績)	2020年度 (実績)	
KGI	売上高 (億円)	207.4	219.9	205.8	210.8	240.0
	営業利益 (億円)	13.0	17.1	10.2	11.3	17.0
	営業利益率 (%)	6.3	7.8	5.0	5.4	7.0
	海外売上高 (億円)	41.3	49.5	45.6	35.1	60.0
	海外売上高比率 (%)	19.9	22.5	22.2	16.7	25.0
財務 指標	ROE (%)	5.9	7.6	8.0	8.1	
	設備投資 (億円)	4.5	8.2	9.7	9.9	
	株主配当金 (円)	40	45	45	45	
	配当性向 (%)	40.7	34.2	31.3	29.6	

政治・経済

- **世界の政治・経済の不透明化**
 - －米中貿易摩擦／保護主義の台頭
- **新興国経済の発展による各種需要の拡大**
 - －食料、エネルギー、インフラ整備
- **安全基準・企画の国際標準化**
 - －自動車、航空機・宇宙、医薬、食品
- **「XaaS」：モノからサービスへの経済シフト**

技術

- **デジタル技術の革新**
 - －5G・AI・ビッグデータ・IoT・ロボティクス
 - －自動車の変容(CASE)／スマート工場化
 - －リモートワーク、オンライン商談の普及
- **多様なエネルギー源の高度利用**
 - －太陽光、風力、バイオマス、地熱 etc.
 - －水素利活用の進展／2次電池市場の拡大

VUCA の加速

環境

- **地球温暖化／気候変動問題の深刻化**
 - －激甚化する自然災害
 - －水資源の不足問題／エコシステムの破壊
 - －世界的な省資源化の進行
- **脱炭素社会実現に向けた動きの加速**
 - －菅政権の「2050カーボンニュートラル」宣言
 - －環境配慮型へのビジネスシフト

社会

- **日本の少子化・高齢化／世界の人口増加**
 - －国内労働人口減少問題
- **新型コロナウイルスの感染拡大**
- **社会から企業に対する期待・要請の高度化**
 - －働き方改革／ダイバーシティ
 - －コーポレートガバナンス／コンプライアンス
 - －東証上場基準の見直し

Measure with Passion

企業理念

計測・制御・監視技術の限界に挑戦し、
産業の発展とより良い明日の社会の実現に貢献する



創立90周年(2026年)に向けた経営ビジョン

共創：環境の変化を捉えながらステークホルダーと共に新しい価値を創造します

特長：卓越した技術によるループソリューションでお客様に感動をお届けします

信頼：信頼の“絆”を強め情熱とチームワークで未来に向かって成長し続けます

CHINO
株式会社 **チノ**

サステナビリティ経営の推進 -SDGs達成への貢献-

計測・制御・監視技術の限界に挑戦

- 脱炭素社会の実現に向けた貢献 -

● 環境問題解決型製品・ソリューションの拡大
水素利用／次世代電池／半導体・電子部品

● 資源・エネルギーの効率利用

● 生物多様性の保全活動



● 地域社会への貢献

● サプライチェーンおよび
アライアンスの強化

● ダイバーシティマネジメント

● 働き方変革／健康経営の推進



● 医療医薬・食品管理をはじめ
安全・安心な社会の実現をサポート

● Society 5.0/スマート社会の取組み
における多様なニーズに対応

● あらゆる産業の基盤となる
温度標準技術と校正サービスの提供



● コーポレートガバナンスの高度化

● コンプライアンスの徹底

● グループリスク管理態勢の強化

● IR/SR活動・情報発信の充実

● 経済的価値の適切な分配



戦略の全体像

持続的な
成長軌道の構築

+

中長期的な
企業価値の向上

脱炭素社会
づくりへの貢献

4
つ
の
基
本
戦
略

成長分野の更なる開拓・拡大

Solution

新たな成長分野に向けて、グループシナジーを創出し
特長あるソリューションの開発と提供を加速させる

コア事業の高度化と価値創造

Integration

独自技術とサービスとのインテグレーションにより
コア事業を高度化し、お客様と新しい価値を創造する

海外事業の基盤強化と拡大

Relationship

国内外事業のリレーションシップ強化と地域別戦略の
展開によりグループ収益力を高める

経営基盤の強靱化

Innovation & Speed

企業価値の創造とイノベーション、スピード経営を支える
人財・組織・ICT・ガバナンス・財務体質の強靱化を進める

サステナビリティ経営

ESG課題への対応

SDGsへの貢献

成長分野の更なる開拓・拡大

Solution

新たな成長分野に向けて、グループシナジーを創出し特長あるソリューションの開発と提供を加速させる

▶ サステナブルな社会の実現へ

脱炭素社会に向けて

水素利用
技術

半導体・
電子部品

次世代
電池

新素材

医療医薬・
食品管理

ロジスティクス

安全・安心な社会に向けて

<背景> 産業構造の変化

- ・ エネルギー需要の構造変化
 - ・ 厳しさを増す環境規制
 - ・ 情報通信技術のブレイクスルー
 - ・ 健康・長寿ニーズの増大
- ▶
- ・ 脱炭素社会実現への対策の加速
 - ・ 次世代電池市場の飛躍的拡大
 - ・ DXの急速な進行
 - ・ ライフサイエンス関連産業の発展
 - ・ ロジスティクスの革新

成長・拡大の機会

コア事業の高度化と価値創造

Integration

独自技術とサービスとのインテグレーションによりコア事業を高度化し、お客様と価値を創造する

▶ 特長と信頼で『計測・制御・監視』を
次のステージへ

独自技術（特長）



サービス（信頼）



感動価値の創出（共創）

<背景>

自社資源の再考

- ・ 温度標準技術
- ・ 温度計測技術
- ・ 赤外線計測技術
- ・ 湿度、ガス計測技術
- ・ ループソリューション
- ・ 計装システム

特長ある
独自技術の深耕

『温度のチノー』の信頼性と顧客密着
サービス力の強化

『顧客感動エンジニアリング』の実現

海外事業の基盤強化と拡大

Relationship

国内外事業のリレーションシップ強化と地域別戦略の展開によりグループ収益力を高める

▶ 国内外 & 生販開の連携で

グローバルニッチ開拓

を進める

<背景>

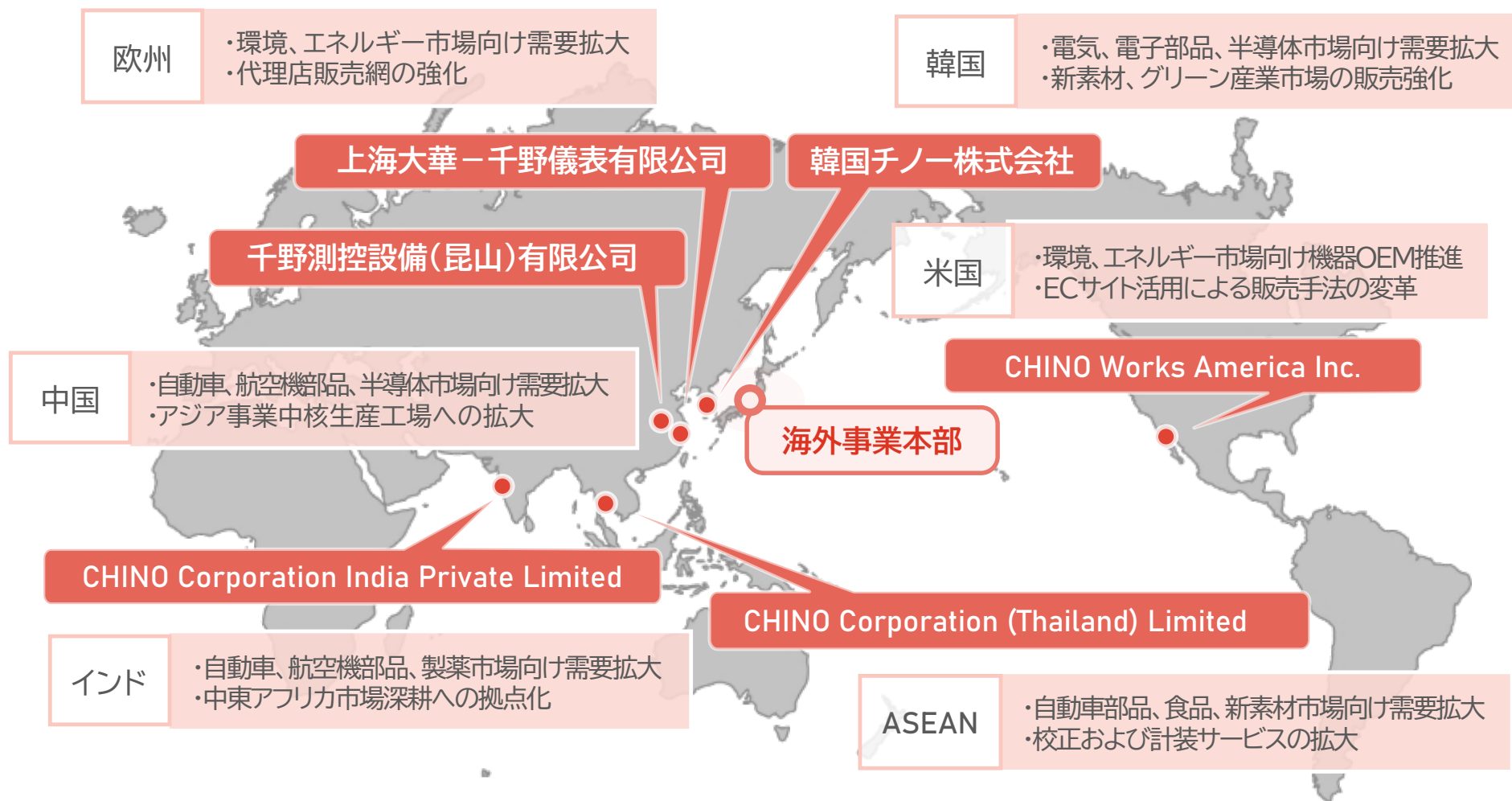
- ・ コロナ禍における世界経済停滞
- ・ 米中摩擦と自国第一主義
- ・ 中国、インド、ASEAN諸国の成長



- ・ 国別・地域別セグメント戦略の展開
- ・ 体制強化、人材育成
- ・ ICT技術活用によるグローバルインフラの整備
- ・ アジア市場での更なるプレゼンス向上

基本戦略 3②

地域別戦略



経営基盤の強靱化

Innovation & Speed

企業価値の創造とイノベーション、スピード経営を支える人財・組織・ICT・ガバナンス・財務体質の強靱化を進める

- ▶ 超VUCA時代の変化に俊敏かつ柔軟に適応し、
CSV(共有価値の創造)に基づいた経営戦略を果敢に実行

<背景>

社会経済システムの抜本的变化

- ・ 少子化と高齢化の加速
- ・ 価値観と働き方の多様化
- ・ デジタル社会の本格到来
- ・ マルチステークホルダー資本主義の台頭
- ・ 新型コロナウイルス・パンデミックの発生

社会のニーズや課題を的確に察知して迅速に対応できる、柔軟かつ耐性の強い経営基盤が不可欠

目指すビジョン・事業戦略と整合した形で、

- エンゲージメントを高める人財マネジメントの確立
- DX推進による業務執行の機動性・効率性の確保
- コーポレートガバナンスの高度化
- 資本効率の向上を一層重視した財務戦略の展開

を軸に、態勢・機能・制度の整備・充実をはかり、
ステークホルダーの期待に応えながら、新たな価値を創造し続ける

イノベーションの創出

スピード経営の推進

経営基盤の強靱化

人財マネジメント

- ・ 経営ビジョンを実践するプロフェッショナル人財の確保と育成
- ・ 組織の活力向上を推進する働きがいのある職場環境の整備
- ・ 公平かつ生産性の向上につながる人事関連諸制度の再構築

ICT基盤

- ・ BPRを実現するデジタルプラットフォームの整備と強化
- ・ DXの推進を支える最新の情報通信ソリューションの導入
- ・ 全社的なICTの有効活用に向けた教育とセキュリティの強化

ガバナンス

- ・ 経営の透明性・健全性の向上によるガバナンスの高度化
- ・ 株主や投資家との建設的対話等を通じた情報発信力の向上
- ・ 環境変化と事業拡大に適合するグループリスク管理の強化

財務戦略

- ・ 健全性をベースに成長性と資本効率を重視した財務戦略の展開
- 最適資本構成の追求による財務健全性の確保
- 投資効率を意識した積極的な成長投資
- 配当性向30%以上を目安とする安定配当

財務（CF）マネジメントの基本方針

■ 積極的な成長投資と
資本収益性の向上

営業キャッシュフローの創出

減価償却費

純利益

資産効率化

- ・運転資金の圧縮(CCC改善)
- ・政策保有株の縮減

株主還元の充実

配当性向 $\geq 30\%$

負債の適正化

有利子負債

株主資本

成長分野・将来への投資

投下資本

WACC < ROIC

資本コスト

リターン

中長期的な企業価値の向上

ROE $\geq 10\%$

持続的成長

数値目標 (KGI)

2026年度KGI (連結)

■ 売上高	300億円
■ 営業利益	27億円
営業利益率	9%
■ 海外売上高	70億円
■ ROE	10%
■ ROA(営業利益)	8%

企業価値向上
持続的成長

2026
創立90周年

Phase 2
成長の加速

2023
Phase 1

FY2020 ● 成長の基礎固め

➤ *Appendix*

CHINO

- 1) M&A
- 2) パンデミック対策ソリューション (新型コロナウイルス)
- 3) 環境への取り組み

1) M&A

明陽電機株式会社の子会社化

当社は2020年4月に明陽電機株式会社の株式を追加取得し、当社の子会社としました。同社との事業連携により、ICT化が進む船舶用市場へ当社計測制御機器・センサ全般の拡販を見込むとともに、同社が培ってきた高耐震・高温耐久性の技術や高信頼性を活かし、陸上の産業分野への展開を目指します。

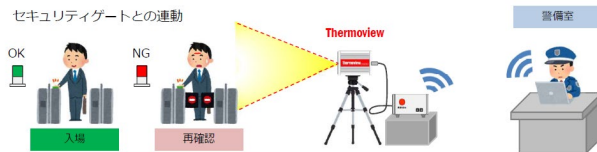
<明陽電機の概要>

設立年月	1948年5月
所在地	静岡県静岡市清水区七ツ新屋485
事業内容	船舶エンジン用温度センサ他、 各種船舶搭載機器専門メーカー

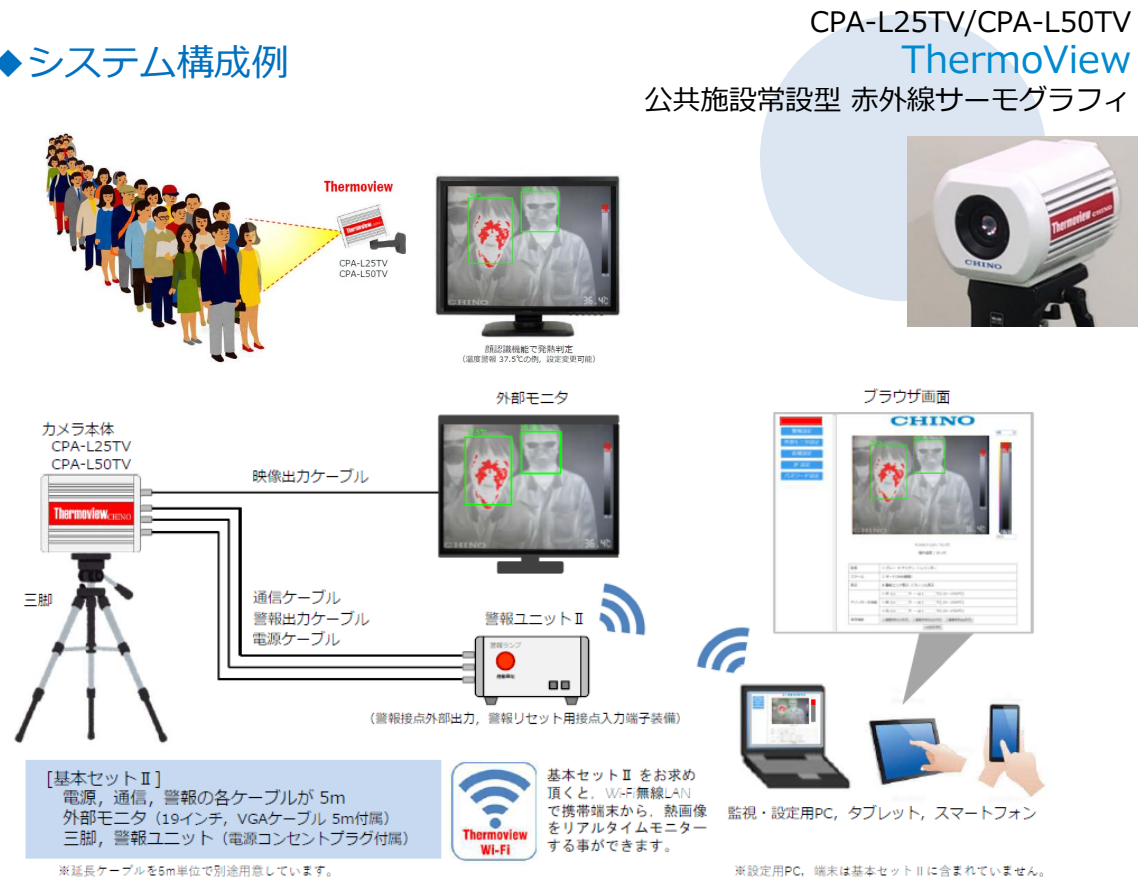


2) パンデミック対策ソリューション (新型コロナウイルス)

- 安心の国内生産
- 国家温度標準にトレーサブルな高精度サーモグラフィ
- 顔認識AIを搭載
- 無線ユニットと併用で遠隔監視
- 自動ドアと連動したシステム



◆ システム構成例



3) 環境への取り組み①

≫ チノービオトープフォレスト取り組み内容

2011年に藤岡事業所内に環境問題に取り組むシンボルとして、地域の皆様とのコミュニケーション拠点として群馬県内の里山を再現した「チノービオトープフォレスト」を整備致しました。

群馬大学と共同でモニタリング調査を実施し、希少生物の保護に取り組み生物多様性の保全に努めています。また、近隣の小学生には環境学習や水質調査実験等による環境保全の大切さを学ぶ機会の提供や、さらには地域社会とのコミュニケーションの場としても活用しています。

ビオトープ

地域の生態系や野生動植物を保全することを目的に、人工的に復元した場所

藤岡市の天然記念物 ヤリタナゴ
(ビオトープ内にて保護中)



3) 環境への取り組み②

「全国みどりの工場大賞」 経済産業大臣賞を受賞

当社の藤岡事業所が、日頃の工場緑化への取り組みを認められ、2019年10月に「全国みどりの工場大賞」経済産業大臣賞を受賞しました（全国で2社）。この制度は、工場緑化を推進し工場内外の環境向上に顕著な功績が認められた工場を表彰するものです。

当社は、今後も企業活動を通じて、新たな環境価値を創造し自然との共生を図り、地球を守り次世代に明るい未来を届けます。



本資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、当社およびグループ各社が現時点で入手可能な情報に基づいており、この中には潜在的なリスクや不確定要素も含まれております。

従いまして、実際の業績は、事業を取り巻く経済環境、需要動向等により、本資料における業績見通しと大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

CHINO